

アジア局長

金沢参事官

北東アジア課長

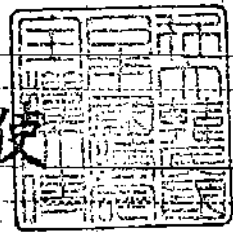
政第4159号

昭和44年12月23日

外務大臣殿

在大韓民國

金山大使



徳嶽諸島の遺骨調査について

厚生省援護局 福田康務課長は12月17日より20日まで当大使館 野田参事官加賀、
新田両書記官とともに本件につき韓国政府
関係者と会談したところ、その要約を下記
のとおり御報告可る。

記



1. 外務部 金正泰 亜州局長及び 申東元 東北亞州課長 (12月18日)

当方より、本件をできるだけ早く解決したく、調査団を早期に派遣したい旨述べたの
 に対し、^{先方は}目下内務部及び保健社会部と
 通じて調査中であり、^(がまだなにかのことで)その結果を見たと
 上、^シ具体的な対策をたてることとしたいと答
 えた。

当方より、明年暖くなったら是非調査団
 を受け入れてほしい旨重ねて要請するとともに、
 国僚会議の結核もあり、日韓双方の
 問題を結びつけることなく、^といふ人道的
 立場から促進したい旨述べたところ、先方
 (亜州局長)は、在日韓国人遺骨の片付けがなば
 こちらの問題も進めたいというふうな気持は

3

毛頭なく、人道的見地から進めることに
異議はないとしても、実際問題として、
在韓日本人遺骨の方がさうと片づき、他
方、在日韓国人遺骨の方は未解決のまま、残
るといふのではやはり立場が苦しいと述
べている。(在日韓国人遺骨及び北鮮帰還
問題については別途御報告す)

保健社会部 崔守一 環境衛生課長
及びソウル市 金昌舜 保健中一課長(12月18日)

崔課長は、本件については外務部より
照会があり、目下内務部等調査を依頼
しており、調査は12月30日までに終了予
定である。調査結果は早急に外務印を返
してお知らせす。旨承べた。

6

(なお、金澤長によれば、ソウル市の旧陸軍墓池(青山陸軍墓池、及び京城陸軍病院埋葬地)は、いよいよ米軍のキャンプ内にあり、キャンプ内の整備過程において完全に消失している由。)

3. 内務部地方局 李海権 行政課長 (12月19日)

本件については11月5日外務部より調査依頼を受け、衣先機関を通じて調査を行っている。調査は主として村民とのインタビューによる他、当地の関係者が死亡した例も多く完全な調査を行うことは困難であるが、^{の中間報告によれば}12月17日現在、徳積面、靈興面において119柱の埋葬が確認されている。12月22日

すでに調査結果をまとめて、外務部に通報
取ることとなっている。

調査団派遣の問題は外務部で決める
ことであるが、方針が決まれば、内務部とし
ては右件は人道問題であるから積極的に
協力したい。また、これらの場所は僻地
であり、内務部の協力なしには実施は困難
であろう。冬期は天候不順で調査困難
であり、調査団派遣は5~6月頃が最適
であろう。(4月はなお風浪が多い。)人数
は3名程度が適当であろう。(地理に詳
しい官吏、人夫等はあつてゐる。)

(注) 仁川-徳稜本島間は定期的な行政
船便があるが、島と島の間の連絡は乏し
めで不便である。

当方より、本件は政府レベルで「やりた」ので
民間からアプローチがあっても政府を通じる
(当方はこの裏を取)
よう指導して欲しい旨、及び、日本の厚生省
は、住民の感情を刺激せず、その協力を
得つつ遺骨の調査收拾と行なうこと
につき、東南アジア全域において急務を
ついでいるので、その裏は十分留意して、旨申入
れたい。

本信字送付先： 釜山。